

浄土真宗東本願寺派野中山正山寺

ほつ寺通信

第28号

令和4年7月1日
<発行責任者>
(住職) 藤野慶正

※皆さんでご覧ください。

盂蘭盆会中止

皆さんこんにちは。コロナ禍もだいぶ落ち着きを見せ(とは言っても、まだ新規感染者数は収束していないので注意が必要ですが…)、日常の生活が戻りつつあります。

正山寺の年中行事も今年こそ通常開催をとも思っておりますが、夏から秋に掛けて、盂蘭盆会・お盆・秋彼岸・報恩講と寺行事が密となつていることから、今後は盂蘭盆会を取り止めにし、浄土真宗として最も大切な報恩講を年中行事の主軸にしたいという考えに至りました。そこで、5月に開催された世話人会総会(裏に記載)にて相談したところ、長年行ってきた年中行事でもあり止めてしまうのは惜しい気もするが、実際、盂蘭盆会を行っていない浄土真宗の寺院も多く、昨今、温暖化の影

響か8月の異常な暑さも相まって過ぎしやすい秋の報恩講に沢山の方が集まって頂くのも良いのかもしれないという話になりました。ですので、様子を見ながらも、当面は8月の盂蘭盆会は行わず、

11月6日報恩講(法話あり)

に、ぜひ皆様お誘い合わせの上、ご参加を頂ければ幸いです。

維持費・管理費について

維持費・管理費をお支払い頂いている檀家さん(管理費は正山寺墓地使用者のみ)におかれましては、今まで盂蘭盆会の時にお持ち頂くことが多かったかと思いが、今後は報恩講の時にお持ち下さい。もちろん、お寺に来る機会(法事やお墓参り等)がありましたら、その時でも構いません。世話人さんにお集め頂いている

檀家さんは、世話人さんの都合にもよりますが、7月から10月の間にお集め頂くことになりましたので、ご協力のほど、よろしくお願ひ致します。

共命鳥

ロシアとウクライナ、あつてはならない戦争がずると続いています。一般市民や幼い子供も犠牲になつており、いたたまれない思いの方も多いのではないのでしょうか。また、核兵器をちらつかせるのも恐ろしい話で自国に留まらず地球規模での被害に考えが及ばないものではないでしょうか。

極楽浄土に住む「共命鳥」という鳥をご存知でしょうか。身体が一つで、頭が2つに分かれている鳥です。名前の通り「命を共にする鳥」で極めて美しい声を出すそうです。この共命鳥、極楽浄土に生まれる前の前世では大変仲が悪かったそうです。事あるごとに意見が衝突していたようです。身体が別々であれば、それほど問題にならないかもしれませんが、身体が一つですから、当然そこで喧嘩

に発展します。そんなある日、その喧嘩が高じて、片方の頭がもう片方に毒の実を食べさせてしまいました。そう、身体が一つですから、両方共に命を落とすことになつてしまつたんです。その命を落とす寸前に、毒の実を食べさせた頭が、大切なことに気づきました。「これまで私はわがままを言いながらも、何とか元気で来られたのは、あなたがいてくれたからだ。この私の命はあなたの命の上に出上がったいたんだ」と。この事を悟つたことで、極楽浄土に往生し、お互いを本当に尊重しあえる存在となつたそうです。

このお話から感じるのは、誰かを傷つけようとする心は、自分自身も傷つけてしまうということ。私たちは皆別々に生きていますが、実は共命鳥のように根っこところで繋がっている…色々な人達との繋がりの中で、今の自分が存在していると思えることが大切なのではないでしょうか。戦争をしている人達も共命鳥の様に命を落とす前に「人類皆兄弟」の考えに気づいて欲しいものです。

世話人会総会

5月下旬初夏の候、世話人会総会が開催されました。昨年まで新型コロナウイルスの影響で書面決議としておりましたが、今年は3年ぶりに世話人さんに集まって頂き、対面で開催することができました。

新世話人の紹介、次期責任役員候補者の検討、年中行事について、維持費・管理費の収支決算報告など話し合い、全ての議決を経て無事に閉会となりました。孟蘭盆会についてもこの会議にて取りやめることが決まりました。

やはり顔を合わせての会議は相手の反応を見ることができて良いですね。皆で久々の再開を喜び合いますが、今後の正山寺を真剣に考え協力して行こうという機運になるような有意義な会議となりました。皆様も、ご協力の程よろしくお願い致します。



※本堂にて

なるような有意義な会議となりました。皆様も、ご協力の程よろしくお願い致します。

四阿・本堂欄干

あすまや
らんかん



↑ 阿 本堂欄干
四 →

開山四百年記念の時に設置した四阿（屋外休憩所）は開放感があり景色も良いので皆様から好評です。本堂に作って良かったと思っています。ただ設置から7年経過して汚れが目立ってきたこともあり、この度洗浄と保護塗装を施しました。合わせて本堂欄干も施工しましたので、気持ちよくご利用並びにお参り出来るかと思えます。境内の設備でもあり維持費から費用を計上させて頂きました。

坊守のコラム

ぼうもり※住職の妻

今回はちよつと痛々しい話ですが、自分を過信しすぎないよう注意する意味も込めまして…。先日、小4の息子が自転車で遊びに出かけた時のこと。運転には慣れていて技術的には心配なし。友

達と並んで走らない、スピードを出し過ぎない等、注意して出かけた。暫くすると電話が…!? 友達の家の近くで転び、唇を切り血が出ていると。慌てて迎えに行くこと、どうやらペダルから足を離して、前輪にひっかかり転倒。

転んだ時に手より先にあごから落ち、前歯で唇を噛んで貫通してしまつたようです。周りにいた友達が見守り、励まし、状況説明もしてくれました。慌てながらも病院を探し、口腔外科へ。永久歯の前歯が少し欠け、下唇の内側と外側をそれぞれ5針づつ縫う大怪我となつてしまいました。翌日には、唇が大きく膨れ上がりましたが、徐々に回復。一週間後の抜糸と前歯の加工が終わり、全治10日程で済みました。あんなに痛々しかつたのに、子供の回復力の早さには、驚きました。自転車に乗るのが怖くなるかと思いきや、すぐにまた自転車に乗って遊びに出かけてます。2年前の骨折、今回の転倒。もう終わりにして、と思うところで、習い事のスポーツのコーチから「お母さん、まだまだ

これからありますよ！」と言われてしまいました。しばらく口うるさく注意してしまいそうです。反抗期突入気味の息子との難しいせめぎ合い、まだまだこのコラムのネタには、事欠かなさそうです。

あとがき

痛々しい繋がりの話をもう一つ。実は私（住職）も先日、早く走るコツの動画を息子と見ていて、外で実践：これはイケると調子に乗って走つたら、体は前に行くも足が着いて来ず、転倒！見事、手と足に結構な擦り傷を：若いと過信した結果です。皆様もくれぐれも過信にはお気をつけ下さい。

寺報「ほっ寺通信」第28号

浄土真宗東本願寺派 正山寺

住職：藤野慶正（発行責任者）
住所：〒194-0201 東京都小平市上小山田町1-50-4
電話：042-797-1446
FAX：042-797-9233
URL：<http://shousan.net>
メール：info@shousan.net